



平成20年 3月13日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所1号機用新燃料の輸送について

当社、敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉：定格電気出力35万7千キロワット）は、本日、新燃料集合体60体を下記のとおり受け入れました。

記

1. 輸送年月日

平成20年3月12日 20時30分 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
久里浜工場 発（神奈川県横須賀市）
平成20年3月13日 6時50分 敦賀発電所 着

2. 輸送数量等

新燃料集合体 60体
輸送容器 30個

3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

4. 輸送方法

陸上輸送

以 上

<参考資料>

輸送における安全性について

『輸送における安全性について』

1. 輸送物の種類

A 型核分裂性輸送物

2. 輸送容器の概要

型式：R A J－Ⅱ型 30個

形状：箱形

寸法：長さ約5m、幅約1m、高さ約1m

重量：約1.5t（輸送容器だけで約0.9t）

材質：ステンレス鋼製

3. 輸送物の安全確認

本輸送物（A型核分裂性輸送物）については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、独立行政法人原子力安全基盤機構により確認されています。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両への積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合には、最寄りの消防・警察・自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じることとしております。

以 上

『A型核分裂性輸送物の安全基準』

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条に基づき国が定めている『A型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

①線量当量率

表面で 2ミリシーベルト／時以下
表面から1m離れた位置で、0.1ミリシーベルト／時以下

②表面密度限度

α 線を放出する放射性物質の場合、0.4ベクレル／ cm^2 以下
 α 線を放出しない放射性物質の場合、4ベクレル／ cm^2 以下

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

①一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

②特別の試験条件

9m落下試験、棒上の1m落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することとなっている。

以 上